



8月 園だより

社会福祉法人雲柱社
五日市保育園

「平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。」

(マタイ 5 章 9 節)

「平和」ってなんだろう

8月 子どもたちと一緒に「平和」について改めて考える大切な時です。

子どもたちにとって、「平和」という言葉はまだ少し難しいかもしれません。でも、大好きな人と一緒にご飯を食べられること、安心して眠れること、友だちと笑い合えること、ケンカをしても、また「一緒にあそぼう」と言えること。そして、明日もまた大切な人に会えると思えること。そんな何気ない毎日の中にこそ、「平和」はあるのかもしれません。

私たちの園ではキリスト保育のもと、一人ひとりが神さまに愛されているかけがえのない存在であるということを大切にしています。異年齢で一緒に生活する子どもたちを見ていると、自分より小さい子にそっと手を差し伸べたり、泣いている友だちを気にかけてたりする姿があります。もちろん、思いがぶつかり合うこともあります。そんな時も、子どもたちは「自分とは違う気持ちがあること」を知り、相手の思いに耳を傾け、もう一度一緒に過ごしていく…。平和とは、みんなが同じになることではなく、それぞれ違う私たちが互いを大切にしながら一緒に生きていくことなのではないでしょうか。

世界に目を向ければ、今この時も、安心して眠ることや、家族と一緒に過ごすことが当たり前ではない子どもたちがいます。遠くの出来事をすぐに変えることは難しくても、目の前にいる人を大切にする、困っている人に手を差し伸べる、こと、「ありがとう」「ごめんね」と伝えること、そして祈ることは私たちにも出来ることです。子どもたちの小さな優しさが、また誰かの優しさに繋がっていく。そんな小さな平和の種を、日々の保育の中で大切に育てていきたいと思います。

夏は、お出かけや旅行など、子どもたちに「何か特別な経験をさせてあげたい」と思う機会も多い季節かもしれません。でも、特別なことをしなくても大丈夫です。

「美味しいね」って一緒にご飯を食べること。「今日は暑かったね」と話すこと。同じものを見て笑ったり心動かすこと。疲れた日は家族でゆっくり過ごすこと。

子どもたちにとって、大好きな人と安心して過ごす何気ない時間は、かけがえのない大切な時間です。そして、子育てをする大人にも休息は必要です。どうぞ「子どものために」と頑張りすぎず、大人も一緒に休み、笑い、夏の時間を楽しんでください。家族が安心して「おかえり」「ただいま」と言い合えることも、私たちの身近にある大切な平和なのだと思います。

子どもたちとご家族の毎日が神さまに守られ、穏やかな夏となりますように。そして世界中の子どもたちが、安心して笑い、眠り、明日を楽しみに出来る日々が訪れますように、共に祈りたいと思います。

(園長 関根富美子)



♪一緒に楽しい・うれしい♪

子どもの祈り…夏の日に

かみさま

夏の間、虫たちを見守ってくださりありがとうございます。セミも トンボも ちょうちんも カブトムシも コオロギも 捕まえたり、触ったり、鳴き声にびっくりしたり、触らないでじっと見たりして、虫っておもしろい、好きだなと思うようになりました。虫たちもきっと、人間の子どもを好きになっていると思います。こんなうれしい夏の季節をくださった神さまに感謝します。このお祈りをイエスさまのお名前によってお祈りします。アーメン

(キリスト教保育8月号より)